

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1
TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
http://www.orgel-horie.or.jp/ E-mail info@orgel-horie.or.jp

ピアニストたちの系譜Ⅲ～リストの弟子たち～

フランツ・リスト(1811-1886)は、ハンガリー出身のピアニストであり、また作曲家です。ピアニストとしてのリストは、とてつもないテクニックを意味する「超絶技巧」の代名詞的な存在であり、今なお史上最高のピアニストと目される傑出した演奏家として知られていますが、実は生涯にわたって後進のピアニストの育成に携わったピアノ教師としての顔も持っており、その門下からは歴史に名を残す優秀なピアニストが数多く輩出されました。

リストが薫陶を与えた弟子の中でも、リストをして「最高の楽人が現れた」と言わしめるほどの力量を誇ったピアニストが、ハンス・フォン・ビューロー(1830-1884)です。ビューローは優れたピアニストであるというだけに留まらず、それまで作曲者との区別が曖昧であった指揮者という役割を、独立した職業にまで分業化させた名指揮者としても知られています。

またオイゲン・ダルベール(1864-1932)は、その全盛期には師であるリストをも凌ぐ名技を発揮したと伝えられ、特にベートーヴェンの第一人者であったことから、のちのドイツのピアニストたちに大きな影響を与えました。

1848年、音楽活動の中心を演奏から制作へ移す決意を固めたリストは、宮廷楽長として招かれたヴァイマルに移住し、作曲活動の傍ら弟子の育成に努めました。このヴァイマル時代の弟子の中では、惜しくも早逝したカール・タウジヒ(1841-1871)が有名でしょう。わずか14歳でリスト門下への入門を認められたタウジヒは、粒ぞろいの門下生の中でも、特に早くからその天才を認められた稀代の名手でした。

その後、宮廷楽長の職を辞したリストは、ローマ、ブタペスト、ヴァイマルの3都市を拠点にピアノ教師としての仕事を続けました。この時代の門下生には、無類のテクニシャンであり、国際的な活躍を見せたエミール・フォン・ザウアー(1862-1942)や、リストの弟子でありショパンの孫弟子という黄金の系譜に属するモーリツ・ローゼンタール(1862-1946)などが名を連ねています。

多くの優秀なピアニストを世に送り出したロシアからは、アレクサンドル・シロティ(1863-1945)やアルトゥール・フリードハイム(1859-1932)などの名手がリストのもとを訪れました。特にフリードハイムは、ピアノの師弟関係の範囲を超えて、リストの身のまわりの世話などにも勤しみ、リストに関する心理学的な研究や回想録などを執筆しました。また、ピアノの点でも好んでリストの演奏の型を模倣するなど、師に対して深い傾倒を示したことで知られています。

アルフレッド・ライゼナウアー(1863-1907)は、ある程度ピアノ技術が完成した成人のみを教えていた晩年のリストに才能を認められ、11歳で特別に門下生として迎えられた神童でした。晩年のリストが、他にこのような例を許したことは1度も無かったそうです。

リスト最後の弟子とも言われるフレデリック・ラモンド(1868-1970)は、ピアノのみならずヴァイオリンやオルガン、オーボエなどを嗜み、わずか10歳で教会オルガニストに任命されるなど、幼少期から類稀な音楽の才能を発揮しました。やがて専攻をピアノに絞ると、リストをはじめとする有名な教師たちに指導を仰ぎ、ベートーヴェンの名演奏家として名を馳せました。



弟子に囲まれるリスト
1884年撮影

前列(左より)ザウル・リープリング、アレクサンドル・シロティ、アルトゥール・フリードハイム、エミール・フォン・ザウアー、アルフレッド・ライゼナウアー、アレクサンドル・ゴットシャルク
後列(左より)モーリツ・ローゼンタール、ヴィクトリア・ドレヴィング、メレ・パラマノフ、フランツ・リスト、フリードハイムの母、フーゴ・マンズフェルト

秋の通常プログラム

10月11日

Musical Instruments

自動演奏楽器の世界

ピアノ、バイオリンなど楽器自体が自動で生演奏を行う19世紀末から20世紀初頭に作られた自動演奏楽器をご紹介します。

毎週木曜～日曜（祝日）

① 10：30

② 13：00

③ 15：00

* 20名様以上の団体の方は事前予約で火曜水曜も開館致します。

秋の庭園特別公開

11月1日(木)～12月9日(日)

毎週木曜～日曜・祝日

* 20名様以上の団体は火曜水曜も開館



紅葉やどうだんつつじで彩る秋の庭園を、オルゴールの音色の余韻に浸りながらお楽しみ下さい。

★展示解説★

期間中の毎日曜日 午後2時から

展示室1階にて自動バイオリンの仕組みについて解説します。

特別演奏会のお知らせ

スタインウェイ・デュオアート(自動ピアノ)

20世紀初頭の偉大なピアニスト達の演奏が甦る！

9月22日(土)

23日(日)

各日午後2時より



オルゴール博物館ニュース



9月15日16日17日に行われた自動ピアノ スタインウェイ デュオアートの特別演奏会の様子です。スライド画面には各ピアニストの紹介が写し出されています。残暑が厳しい中多くの方が来館し、当時のピアニストの演奏を楽しんで下さいました。



8月末にNHK神戸の香取りポーターとスタッフの方が取材に来られ、9月3日の夕方と夜のニュース番組の中で当館が紹介されました。